

はじめに

## サポートからアシストへ

2004年度のメイン事業だった「復活 地域力事業」は、学校・地域・家庭の連携で大成功に終わり、地域とのつながりを更にひろげ、子育ての基盤をつくる大きな成果を残すことができました。秋の、こどもまつりに参加したある女の子が言った「夢の時間だった。」と言う言葉に思わず涙が出るくらい感動し、大人にとって子どもの笑顔が何より幸せと感じました。

また、高学年の子ども達はスタッフとして奮闘、オープニングのダンスを飾り、「下手人を探せ」の遊びでも大活躍しました。「子どもから元気もらった。」と、商店街の方からうれしい声をいただきました。

同時開催した「子育て展～ハートとハートをつなごうね～」は、ネットワーク事業として萩長門地区の子育てサークルが集まって初めて取り組みました。ここ2年間、子育て地域会議を持ってきたサークルや団体の人達と一緒にイベントを企画、運営し、高校生の託児ボランティア募集には16人も参加があり、高校生が乳幼児と触れ合うよい経験になりました。いろいろな反省点ありましたが、「私の子育てから私達の子育てへ」の思いの輪を広げることができました。

舞台鑑賞事業は、「西遊記」、フェスティバルで「ドレミポケットコンサート」「KOYOマイムライブ」、こどもまつり公演で「太田ひろしまジックショー」こまの大道芸「やんちゃ横丁路地裏の必殺技」を企画しました。こどもまつり公演はイベントに舞台を組み込む今までにないやり方で、2日目の大道芸は、人垣ができるくらいに、まつりに来た人が足を止めて熱心に見入っていました。会員へは、フェスティバル、こどもまつり公演に参加費を会から補助するメリットをつけましたがなかなか参加にはつながりません。また、チケット販売も負担になっています。

県の委託事業（家庭教育推進事業＜お父さんの家庭教育への参加＞）で、家族を対象にした「親子でグッドサンデー」企画を実施しました。8月に企画した「パパとクッキング・ママはリラックス」は、ママはリラックスがお母さんに受けてすぐに参加が定員いっぱいになり、楽しい終日の時間を過ごすことができました。参加したお母さんの「少しでも子どもと離れて、ほっとする時間が持てたことがよかった。」の感想が印象的で、今置かれている子育ての状況を見た企画立案をしたいと思います。

会員数の減少に歯止めがきかない状況が、年度当初に正会員が2人、学校心理士の石橋 剛先生と砂川博史萩健康福祉センター所長が入会していただき、幅広い視野と専門的な立場から関わっていただいています。三年目の組織検討委員会は、ひとりひとりの目線で入りやすい組織、入りたくなる会にしていくために、運営体制や役員構成、財政の面から具体的な話し合いを進めていますが、課題が重たいだけにしっかりとした論議を重ねていきます。

「子どもの笑顔がみたい」・・・今、子どもが元気です。子ども達からこうしたいという声が聞けるようになりました。子どもが主体的になるために、どう大人が関わり、接するかがとても大切です。「サポートからアシストへ」、子どものそばにいて、適切なところでそっと後押しできる、子どもが生き生き、ワクワクする感動と共感が人の輪を広げていく、そんな活動を目指していきましょう。

6  
平成17年度事業報告書

特定非営利活動法人 萩子どもセンター

1. 事業の方針

わたしたちがすんでいる地域のすべての子どもたちを育む文化活動をめざす

- (1) こどもまつり～秋の巻～(復活 地域力)をメイン事業とし、他団体との連携や協働で成功させましょう。  
平成16年度の新規事業であり、萩子どもセンターのメイン事業として1年間取り組みました。  
子どもが豊かに安全に育ち、大人も育ちあう地域としての力を育むために、5月はこどもまつり～春の巻～、8月は夏まつりのあそびの広場、10月はプロのマジシャン太田ひろしさんを講師にめざせマジシャン!マジックワークショップ、そして、地域と協働した2日間の、「田町まるごと YOU・友・遊 こどもまつり～秋の巻～」、1月は「萩の歴史を知ろう」ワークショップを企画、実施しました。「こどもまつり～秋の巻～」は2日間延べ、2000人の参加があり、会場のジョイフルたまちはあそび心で溢れました。この事業を通して、地域の方、学校、家庭の連携ができ、ネットワークがひろがりました。
- (2) さまざまな楽しい体験の場を発信し、子どもも大人も自ら積極的に関わっていきましょう。  
それぞれの事業を通して、人との触れ合いや温かさや励まし、笑顔がありました。企画によって会員以外の参加が多い場合もあります。一方、会員にとっては、舞台鑑賞も回数が減って、舞台が観たいの声や、1年間何も参加しなかったという声もきかれます。会に望むことや会への魅力 をどう感じ、思っているかが見えなくなってきました。
- (3) 組織の見直しをこの1年間検討し、次年度にむけて萩子どもセンターの飛躍を図ります。  
組織検討委員会では、会費のあり方や事業について話し合いましたが、なかなか前に進まないのが現状です。活動をすることで、みんなが元気になって、次への活力が発揮される会になっていくための見直しが必要です。

2. 事業の実施に係る事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実 施 日 時	実 施 場 所	受益対象者 の範囲及び 人数
舞台鑑賞事業	<b>舞台鑑賞</b> 生の舞台を親子で体験する事により、感性を揺さぶり心を育てることを目的とし、プロの創造団体による公演の企画、実施。 ・西遊記(人形劇団むすび座) 小さな子どもから大人まで多いに楽しめて、京劇も取り入れた観応えのある公演でした。ロビー交流も人形を実際に触ることができて、良い交流会ができました。 ・フェスティバル参加補助 ・こどもまつり～秋の巻～公演参加助	4月20日 19:00～	萩市民館 大ホール	173人
		5月10、16日		189人
		10月23日		193人

	<p><b>子ども舞台芸術フェスティバル</b>  子どもたちが歩いていける身近な場所で、友達と一緒に生の舞台を体験する。日ごろ鑑賞会が実施できない地域での取り組みを目的としたプロの創造団体による小公演。  山口県子ども舞台芸術フェスティバル(主催：子ども劇場山口県センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドレミポケットコンサート(うたう動物園)  元保育士のお兄さん 3 人による音楽舞台は元気いっぱい、ノリノリで、子どもも大人もうきうきして、思わず体が動き出しました。《中央ブロック担当》</li> <li>・ KOYO マイムライブ  絶妙のパントマイムとユーモアあふれるお父さんとの掛け合いが最高で、しっかり笑って元気になる舞台でした。《椿東ブロック担当》</li> <li>・ 近隣地域でのフェスティバル開催をサポート、応援しました。</li> </ul>	<p>6月10日 19:00～</p> <p>6月16日 19:30～</p> <p>6月14日 6月19日 6月23日 6月25日</p>	<p>サンライフ萩</p> <p>サンライフ萩</p> <p>須佐 明木 福栄 見島</p>	<p>123人</p> <p>144人</p> <p>スタッフ 述べ11人</p>
<p>子どもの諸活動支援事業</p>	<p><b>高学年活動</b>  4年生以上の子どもを対象にした交流会の実施、企画。</p> <p>6月 スポーツ交流  9月 手巻き寿司パーティー  10月 こどもまつりスタッフ  1月 新年会(うどん・そばパーティー)  3月 お別れ会  ネットワーク KoTo</p> <p>1年を通じての活動で、子どもたちの居場所・仲間作りにもなっています。異年齢の子どもたちが触れ合うことが確実に子どもたち自信の成長につながっています。</p>	<p>6月20日 9月23日 10月23,24日 1月7日 3月22日 3月26,27日</p>	<p>事務所  "  ジョイフルたまち  事務所  "  明木地域</p>	<p>12人 15人 11人 17人 14人 7人</p>
	<p><b>ストリートダンス</b>  週二回、男の子、女の子が曜日を決めて集まっています。夏まつりの参加もすっかり定着し、生き生きとした子どもの表現の場になっています。こどもまつり～秋の巻～のオープニングも元気いっぱいのダンスで盛り上げてくれました。子どもから出されている会の見直しや大人のサポート体制の確立について課題が残りました。</p>	<p>週2回</p>	<p>事務所</p>	<p>述べ404人</p>

**サマーキャンプ**

高齢のサマーキャンプを開催。事前の下見から企画を高学年が進め、今年はグリーンツーリズムのインストラクターのみなさんの指導でカヌーに挑戦しました。自然に触れながら 1泊2日のキャンプを楽しみました。

**県中高生交流会**

子ども劇場山口県センターの企画、実施。夏の高校生交流会に 2 人、中高生の交流会に、萩から 3 人が実行委員を含む 18 人が参加して県内の中高生と交流を深めました。どちらも実行委員を送り出し、リーダーとしての成長は目覚ましいものがありました。

8月 9, 10 日

河添河川敷  
～西の浜  
川上キャン  
プ場

18 人

8月 20, 21 日

大田原自然  
の家

2 人

3月 28, 29 日

国立徳地少  
年

18 人

**復活地域力！事業**

こどもまつり (あそびば)

子どもたちが心を開放して心身ともに遊びきる企画を実施しました。

・春の巻

昔あそびをテーマに午前は自由遊び、午後は競技をして 1 日楽しみました。

5月 8 日

土原グランド

約 200 人

・秋の巻

地域と協働して実施した「田町まるごと YOU・友・遊 こどもまつり～秋の巻」は、2 日間会場は遊び心で溢れ、地域、学校、家庭などの連携ができネットワークが広がりました。

10月 23, 24 日

ジョイフルたま  
ち

約 2000 人

あそびの広場 (夏まつり)

けん玉やヨーヨーなど昔懐かしい遊びを企画、子どもと一緒に大人も遊んでいました。

8月 3 日

吉田町

約 200 人

**ワークショップ**

・からくりおもちゃを作ろう

講師：梅津晋一 (萩工業高校)  
協力：萩工業高校電気研究部 7 人  
昨年に引き続き、萩工業高校の協力を得て開催。技組、いろは組に分かれて、からくりおもちゃを作りました。

8月 5, 6 日

事務所

17 人

・めざせマジシャン！マジックワークショップ

講師：太田ひろし (マジシャン：札幌在住)  
太田ひろしさんを講師に招き手品教室を開催。小学生から年配の方まで幅広い参加でテクニックを習得、3 人のかわいい子ども達がこどもまつり～秋の巻～で手品を披露しました。

10月 5 日

事務所

28 人

・萩の歴史を知ろう

講師：樋口尚樹 (萩博物館副館長)  
萩博物館の樋口副館長さんを講師に 2 時間かけて博物館まで散策し、萩の魅力や歴史について知る良い機会になりました。

1月 22 日

田町  
～博物館

31 人

子育て支援事業	<b>ピヨピヨの会</b> 月2回、自由遊びと企画会を組み合わせ て実施しました。子どもだけでなくお母 さんの居場所づくりになっています。ま た、アンケートをとって、今後の活動にい かしていきたいと思います。	毎月 第1.3木曜日 年20回	総合福祉セ ンターほか	延べ 410世帯
	<b>子育てミニミニ講座</b> (家庭教育支援推進事業) お父さんの育児参加を目的に、3つの企 画を実施しました。	8月22日	萩市民館	13世帯 42人
	・親子でグッドサンデー 講師：栄養士 中国茶芸師 阿武直子さん 「パパとクッキング・ママはリラックス」 ママはリラックスがニーズに合っ て参加すぐ定員いっぱいになるほどの盛況 振りで、お父さんと子どもはクッキン グ、お母さんは中国茶でリラックスして 楽しみました。	12月4日	事務所	約30人
	・絵本とおもちゃの話 (おもちゃ絵本展と同時開催) 講師：梅本美樹さん(こどものとも社) 「子どもの成長と絵本とおもちゃ」とし て子どもとメディアの観点からも読み きかせが親子のコミュニケーションに いかにか大切かをお話していただきました。	2月20日	萩市民館	13世帯 34人
<b>県民活動協働ネットワーク事業</b> 「萩子育て展～ハートとハートをつなごうね～」 私の子育てから私達の子育てへの思い で、地域の子育てサークルや団体と一諸 に子育て展を開催しました。活動紹介の パネル展示、子育て情報発信、高校生に よる託児ボランティアなど、工夫を凝 らした結果、たくさんの方に来場してい ただき、子育てのネットワークを広げる ことができました。	10月23,24日	事務所	実行委員 8団体 展示11団体 高校生託児ボ ランティア 16人 来場者数 約300人	

	<p><b>その他</b> KRYテレビ「はつらつ山口っ子」モニターを委託され、モニター報告をしました。</p>	7月～10月	各自 テレビ視聴 23回放送	延べ46人
子どもと文化に関する活動支援事業	<p><b>べっぴんしゃん</b> 学校ほか施設の訪問公演の支援、また、作「耳なし芳一」の政策に取り組んでいます。</p>	8人 (外3人)	20会場	1800人
	<p><b>おはなしやまんば (お話の会)</b> 昔話や童話の世界を語ることによって、本の世界を世界を伝える勉強会をしています。</p>	毎月 第3月曜日	萩市民館和室	延べ38人
	<p><b>ブロック活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央ブロック 舞台はドレミポケットコンサートを担当しました。ハンドベル隊・魅惑のシスターズはコープ平和行進に参加、こどもまつり～秋の巻～では変身コーナーを担当しました。その他、山登りを2回企画しましたが雨のために中止になりました。さらに、ブロックニュースやサークル長ニュース、サークルニュースを作って、ブロックが活性しつながりが実感できる工夫もしました。</li> <li>・椿東ブロック 舞台は西遊記とKOYOマイムライブを担当し、西遊記は事前にぬり絵を募集して当日の会場に飾りました。春に開催したお花見は、日頃参加できない子どもも一緒に参加して、とても楽しいブロック交流ができました。</li> </ul> <p>会員の世帯数が減少する中で、会員の魅力の1つである人とのつながりを、1人ひとりが実感できるよう、ブロック活動の見直しをしていく必要があります。</p>			
<p><b>おもちゃ絵本展</b> 子どもの発達を考えたおもちゃや絵本の展示を行いました。毎年楽しみにきて下さる方もいて行事が定着してきました。サロン形式でした子育てミニミニ講座は、講師の梅本美樹さんのお話がとてもわかりやすく、よい絵本やおもちゃの出会いが子どもの豊かな感性を育むことを教えていただきました。</p>	12月4日	事務所	約200人	

<p>子どもと文化に関する広報事業</p>	<p><b>講演会「子どもとメディア」</b> NHKメディア研究所の清川輝基さんを講師に講演会を開催、メディアによる子どもの心身に及ぼす影響を多くの方に知ってもらいました。その後、学校の先生や幼稚園の先生や関心のある方と交流会をもち意見交換をしました。</p>	<p>4月23日</p>	<p>萩市民館 大ホール</p>	<p>318人</p>
	<p><b>子どもと文化に関する活動の紹介、広報活動</b> チラシ、パンフレット作成ほか、広報誌「フレンド」、ボランティアフェスティバルや県主催の会議や全国家庭教育フォーラムなど、様々なところで子どもセンターの紹介の機会があり、広く活動を知ってもらうことができました。 県の広報誌「ふれあいやまぐち」に活動が掲載されました。(2005/5月号) <b>県民活動パワーアップ賞を受賞しました。</b> ホームページ開設 ホームページを開設しました。 メールアドレス <a href="http://www.geocities.ne.jp/hagi_kodomo_center/">www.geocities.ne.jp/hagi_kodomo_center/</a></p>		<p>Furends 発行  活動パネル制作 パワーポイントによる活動紹介  活動紹介資料</p>	<p>1回  3回  2回  3回</p>
<p>子どもの権利条約推進事業</p>	<p>ニュースなどで広報、啓発をしました。</p>		<p>おやこニュース発行</p>	<p>9回</p>
<p>その他</p>	<p><b>他団体と協働した事業</b> 田町商店街  <ul style="list-style-type: none"> <li>たまちらくがき町</li> <li>土曜夜市</li> <li>こどもまつり～秋の巻～</li> <li>クリスマスイベント</li> <li>災害による義援金活動</li> </ul> 七夕のつどい実行委員会 ふたば園七夕のつどい   <b>県民活動協働ネットワーク事業</b>   ユネスコ ふるさとまつり 劇団四季実行委員会 (萩音楽協会、シアター365、萩吹奏楽団、萩発愛のメッセージ、パオラ) 「はだかの王様」公演 <b>協働ネットワーク事業KOT</b> 子どもによるホスピタリティー 「ぼくの田舎を紹介します」</p>	<p>5月5日 7月土曜4回 10月23,24日 12月23~25日  8月9日  10月23,24日  11月13,14日  2月19日  3月26,27日</p>	<p>ふたば園  事務所  萩市民館  萩市民館  旭地区</p>	<p>5人 延べ20人  5人  実行委員会 2回 当日サポート 15人  実行委員会 5回  6人  実行委員会 5回(3人) 当日 4人  中高生7人 大人 6人 実行委員会 6回</p>